

# 「役職加算」って おかしくない?!

公務員の「役職加算」のことをご存知ですか？ 一定以上の役職者のみに、期末・勤勉手当（ボーナス）が最大で20%も加算される制度です。バブル景気絶頂の1990年、「官民格差を是正する」（当時は民間が高く公務員が低かった）として導入されたものです。以来約20年、時代が全く変わった今もなお、国でも全国の多くの自治体でも、役職加算制度は手つかずのまま。この財政難のご時世に、いくらなんでもおかしくない?!

## 豊中では年に約5億円

役職に応じてボーナスが加算される「役職加算」制度。豊中市の場合、5%から最大は部長級で20%も加算されます。月給が高い役職者はボーナスももともとかなりの高額なのに、さらに加算するのです。一般職員だけでなく、市長や議員など特別職も含めて支給されており、豊中では加算分だけで5億2千万円にのぼっています（2008年度）。

高齢者・障がい者福祉、教育、子育て、医療、文化…、財政難を口実に、市はあらゆる分野で行政サービスの水準をどんどん引き下げてきました。「このままでは財政が破綻する」などと危機感をあおり立て、市民に負担を押し付ける一方で、役職加算には全く手をつけず温存しているのですから、ずいぶんおかしい話です。

昨年12月、私たちは市当局に対し「役職加算の廃止を。少なくとも、率の引き下げが年次を限っての凍結ぐらいは検討すべき」と迫りました。ところが当局の回答は、「廃止も率の引き下げも凍結も検討しない」。ひ、ひどすぎる！

## まずは議員から廃止を

各会派に「まずは議員から率先して廃止するため、議員報酬条例の改正を」と呼びかけました。ところが、

残念ながらどの会派も全く消極的。各会派の幹事長会（無所属議員はカヤの外です）では、役職加算問題

の検討は先送りにされてしまいました。議員の役職加算を廃止すれば、4月からの新年度ですぐに約2千万円を削減できるはずだったのに…。

今年の夏のボーナスでも、役職加算はそのまま支給されました。議員にもです。私たち3人は「不当な支出だ」と市に

返納しようとしたのですが、公選法上できず、加算分26万円余は法務局に供託しました。

平成21年度 6月期分  
期末手当支給明細書  
様

区分	金額	
期末手当 (680,000*1.2*1.935ヶ月分)	1,570,800	
控除明細	共済特別掛金	117,750
	所得税 (税率 18%)	261,549
控除合計	379,299	
差引支給額	1,191,501	

2009年夏の議員のボーナス明細書。計算式の中の「\*1.2」という部分が役職加算分。1.2倍、つまり20%加算されています。

## 皆さんの声をお聞かせ下さい

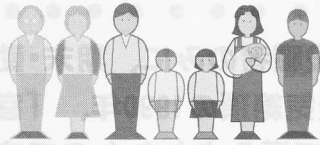
議員や市幹部だけに任せていたのでは、特権は廃止できません。役職加算を廃止に追い込むため、市民の皆さんの声を集めて議員や市幹部たちを突き動かしていきたいと考えています。ぜひ皆さんのご意見をお聞かせ下さい。

【発行】 豊中市議会議員（無所属・市民派） 神原宏一郎・木村真・坂本やすこ

(連絡先) | 神原 TEL/FAX 6854-5664 | 木村 TEL 6846-8358 FAX 6846-8303 | 坂本 TEL/FAX 6857-4866  
young\_spiritjp@yahoo.co.jp | toyonaka\_kimura@yahoo.co.jp | sakamotoyasuko@gmail.com

# 役職加算分の5億2千万円が、いったい どれぐらいの金額かというと、例えば・・・

豊中市の人口38万8千人で割ると… **》》 1,340円**



役職者のボーナス加算分を支払うために、生まれたばかりの赤ちゃんからお年寄りまで、全市民が1,340円ずつ負担している計算になります。

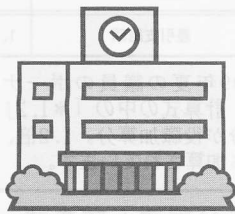
「百年に一度の不況」にあたっての雇用対策 **》》 年に1億8千万円**

役職加算を少し削るだけで、雇用対策を大幅に  
拡充できます。

厳しい不況が続いていますが、種々の景気対策の中で「雇用」と名がつくお金はたったこれだけ、役職加算分の約1/3でしかありません。しかも財源は国の交付金で、豊中市の独自財源ではありません。役職加算は温存する一方、雇用対策にはお金を全く使わないなんて！



全小中学校に市独自で教員を一人ずつ配置 **》》 約3億3千万円**



困難を抱える子どもたちを支えるために何よりも必要な「人」を増やせます。

不登校、いじめ、学力向上…。難問山積なのに、学校現場では財政難を理由に教職員数が削られています。役職加算を廃止すれば、全ての市立小中学校で正規教員を一人ずつ増やしてもまだ2億円ほど余る計算です。

70歳以上の方にラガールカード代を年6千円支給 **》》 約2億4千万円**



財政難を理由に中止された高齢者交通費助成を再開できます。

高齢者がいきいきと暮らすために、バスや電車に利用できるラガールカードはとても喜ばれていただけに、中止は残念です。役職加算の半分以下の金額なのに…。

それでも残しますか、「役職加算」?!